

技術評価報告書の構成（案）

はじめに

産業構造審議会評価ワーキンググループ委員名簿

評価検討会委員名簿

技術評価に係る省内関係者

審議経過

第1部 事業の概要

第1章 複数課題プログラムの概要

1. 本プログラムの政策的位置付け/背景
2. 当省（国）が実施することの必要性
3. 複数課題プログラムの内容
4. 複数課題プログラムの実施・マネジメント体制等
5. 事業アウトプット
6. 事業アウトカム
7. 事業アウトカム達成に至るまでのロードマップ
8. 費用対効果
9. 前回評価の指摘事項と対応状況

第2章 研究開発課題（プロジェクト）の概要

A 低レベル放射性廃棄物の処分に関する技術開発委託費

1. 国内外の類似・競合する研究開発等の状況
2. 研究開発の内容
3. 研究開発の実施・マネジメント体制等
4. 事業アウトプット
5. 事業アウトカム
6. 事業アウトカム達成に至るまでのロードマップ
7. 費用対効果
8. 前回評価の指摘事項と対応状況

B 高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発委託費

1. 国内外の類似・競合する研究開発等の状況
2. 研究開発の内容
3. 研究開発の実施・マネジメント体制等
4. 事業アウトプット
5. 事業アウトカム
6. 事業アウトカム達成に至るまでのロードマップ
7. 費用対効果
8. 前回評価の指摘事項と対応状況

第2部 評価

第1章 研究開発課題（プロジェクト）の評価

A 低レベル放射性廃棄物の処分に関する技術開発委託費

1. 総合評価
2. 今後の研究開発の方向等に関する提言
3. 評点法による評点結果

B 高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発委託費

1. 総合評価
2. 今後の研究開発の方向等に関する提言
3. 評点法による評点結果

第2章 複数課題プログラムの評価

1. 当省(国)が実施することの必要性
2. 複数課題プログラムの内容及び事業アウトプットの妥当性
3. 複数課題プログラムの実施・マネジメント体制等の妥当性
4. 事業アウトカムの妥当性
5. 事業アウトカム達成に至るまでのロードマップの妥当性
6. 費用対効果の妥当性
7. 総合評価
8. 今後の研究開発の方向等に関する提言

第3章 評価ワーキンググループの所見

「第2部 評価」の取りまとめ方

- 評価項目毎に以下のように評価コメントを取りまとめる。
- 各委員のコメントを取りまとめて、評価検討会の総意としての評価コメントを枠内に記載する。
- 各委員の評価コメントは（A委員）などと匿名により全て列記する。

（例） 7. 総合評価

○○○○○の観点から積極的に関与してくべき分野である。さらに○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○である。

他方、○○○○○○○○○からすると、実用化に向け○○の点について検討する必要がある、また、○○の課題を乗り越えるために、○○する必要がある。

【肯定的意見】

A委員：○○○○と考える。

B委員：○○○の観点から○○○である。

C委員：

．．．

【問題点・改善すべき点】

A委員：○○○○の点については今後さらに検討すべき。

B委員：○○の状況からすると更に○○を精査して見直すべき。

C委員：

．．．

「第2部 第1章 3. 評点法による評点結果」の取りまとめ方

- 各委員の評点は匿名にして掲載する。
- 各委員の評点を、A = 3，B = 2，C = 1，D = 0 点に換算し、平均値を算出。
- 評点は評価コメントを補完する資料とし、評価の全体的な傾向を把握することを目的とする。

(評点の取りまとめ例)

評価項目	評点	A委員	B委員	C委員	D委員	E委員
1. 当省が実施することの必要性	2.8	3	3	2	3	3
2. 研究開発内容及び事業アウトプット	2.6	3	2	3	2	3
3. 研究開発の実施・マネジメント体制等	2.0	2	2	1	2	3
4. 事業アウトカム	2.2	1	3	2	2	3
5. 事業アウトカムに至るまでのロードマップ	2.2	2	2	2	2	3
6. 費用対効果	2.6	3	3	3	2	2
7. 総合評価	2.8	3	3	3	3	2

